

伊藤 ゆきひろの ちょっとタイム



<No.101号> 2019年7・8月号 8月1日発行

ごあいさつ

趣向を凝らした夏祭が、長引く雨に祟られた夏休みの始まりですが、暑さも本番、海も山も受入れ準備万端です。



刈谷市議会議員

この度は新市長誕生と8名の新人市議が加わりました。新たな感性と視点を持って、市政や議会が活性化されることを期待致します。私自身も心機一転、選挙で訴えた約束を果たすべく、愚直に努力を重ねご支援下さった皆様の期待に応えて参ります。

刈谷市は来年、市制70周年を迎えます。これまで本市は、盤石な財政基盤に支えられ、発展を遂げて来ましたが、少子高齢化・人口減少は避けられず、社会保障費の増大が危惧される中、景気の先行き不透明感は払拭できません。今後も激変するであろう産業革命への準備と対応力を磨く必要があり、持続可能な市政運営のための施策立案は重要な課題です。

以上、時局を鑑み「日本一安全安心なまち刈谷」を実感・浸透させるため、今後も尽力して参ります。

刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

7月 2日 (火) 半夏生	8月 8日 (木) 立秋
7日 (日) 小暑・七夕	11日 (日・祝) 山の日
15日 (月・祝) 旧盆・海の日	12日 (月) 振替休日
16日 (火) 藪入り	15日 (木) お盆・終戦記念日
23日 (火) 大暑	23日 (金) 処暑・地蔵盆 (~24日)

梅雨明けを待ち侘びた 蝉の大合唱や、ランチテーブル席の子ども達の歓声にようやく訪れた 盛夏を想うこの頃です。たくさんの思い出を作りましょう。

7月のフットワーク

第8次刈谷市総合計画策定のための基礎調査結果が公表されました。

総合計画とは、市町村行政の指針を示す最上位の行政計画です。刈谷市は2011年度から2030年度までの20年間を基本構想の期間と定め、2020年度までの10年間は「第7次総合計画」を基に行政運営を推進してきました。

よって、2021年度からの10年間に向けては「第8次総合計画」を策定し進めていく必要があります。今回はそのための基礎調査を実施した結果が公表されました。

(1) 第7次総合計画の評価

◆各施策の目指す姿や目標値達成度を評価。106/121項目(87.6%)が達成できていると評価。また、39項目(32.2%)について、今後も高い優先度で達成を目指すべきと評価。

◆基本方針に掲げた5つの分野別の総括。各施策の主な実績や課題、目標指標の達成状況等をまとめ、職員PJTチームによる今後の展開方向(戦略課題)を整理。

◆将来都市像実現に向けた7つの重点PJTの目標達成度を評価。11/20項目(55.0%)が達成できていると評価。

(2) 刈谷市の将来フレーム予測

総人口の推計【高位・中位・低位】



(3) 第8次総合計画策定に向けた主要課題

(1) 若い世代や子育て世代への支援	子どもを生みたいと望む夫婦への出産支援、働く親の子育てと仕事との両立を支える仕組みの充実、結婚しやすい環境づくり。
(2) 仕事や雇用の創出	産業振興及び雇用環境の向上が求められており、女性や高齢者、外国人など多様な人材の活用支援やキャリア教育などの充実。
(3) にぎわいの創出	リニア中央新幹線の開業を捉え、刈谷駅や、ハイウェイオアシス周辺の交流促進、HTP活用した本市ならではのにぎわい創出。
(4) 自分らしく暮らせる環境の整備	「生涯現役社会」の実現に向けた仕組みの整備および福祉関連施策の一層の充実。
(5) 住環境の整備	既存市街地の再生、土地の高度有効利用や新たな住宅地の供給。また、公共交通の利便性や災害に備えた安全性の向上。
(6) 新技術の活用	AIやIoTなど新技術の進展に即す産業振興支援や教育の充実、行政運営の効率化を図るスマート自治体への転換など。
(7) 刈谷の魅力発信の推進	リニアインパクトを好機と捉え戦略的な情報発信を行い、都市イメージの向上や来訪者の増加を図る必要がある。
(8) 地域等との連携による取組の推	地域活動の担い手不足や活動のマンネリ化などの課題解決に向け、関係諸団体とも連携し活動の活性化を図る必要がある。

伊藤ゆきひろの

ちょっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



3ヶ月に一度のコンサートは、知る人ぞ知る、癒しのランチタイムでもあります。明るいフロアに流れる 優美な時間…さて、ここはどこでしょう？



6/1発行の<No.100>の答えは、泉田町南端の町外れ、総合運動公園を背にした地元企業ビオトープ・逢妻の郷でした。蛍の放流や水生植物、椎茸の原木も見られます。

“ 螢 火 ” への招待 ☆

夏の風物詩・螢は俳句の季語でもありますが、清流やその沢に棲み、美しい発光を伴うこの昆虫は、古くは人間の靈魂だと信じられたこともありました。

平安の女流歌人で、恋多き女性としても名を馳せた和泉式部。縁結びのご利益があるとされる貴船神社に参詣した際、御手洗川に螢が飛ぶのを見て、詠んだ一首に、“物思へば 沢の螢も 我が身より あくがれいづる 魂かとぞみる”(あなたが恋しくて思い悩んでいると、沢に飛んでいる螢も 我が身からさ迷い出てきた魂ではないかと思う)という歌が有り、最初の夫・藤原保昌を想い詠んだものとされています。女性はただひたすらに夫の訪問を待つだけだった通い婚の時代、せめて魂だけでも螢になり愛しい人のもとへ飛んで行けたらと願ったのでしょ。当時の貴族社会では“顔を見る前に恋をする”のは当然、歌の上手や人となりの噂は何より重要で、和泉式部のような官女は深窓の姫君よりずっと男性と直接顔を合わせる機会が多い分、恋の数も多かったかも知れません。螢の火が、恋の“思ひ”の“ひ”と掛詞になるため、夏の螢を恋と絡めて詠んだ歌が他にも残されており、古人から脈々と伝わる熱い想いや気概を感じます。

7月・8月の行事予定

7月 1日 (月) 市議員当選証書授与式	8月 5日 (月) 臨時会
5日 (金) 衣浦東部市議会議長会	16日 (金) 市民盆踊り大会
13日 (土) 社協ポッチャ大会	20日 (火) 来年度予算要望
20日 (土) 愛知県消防操法競技会	21日 (水) 衣東議会定例会
25日 (木) 三河部市議会議長会	
29日 (月)・31日(水) 議員懇談会	

“まじめにコツコツ、即行動” 頑張ります !!

